

「能登の水産関係港の復興に向けた協議会（復興協議会）」 第1回会合

日時：令和6年3月25日14時00分～

会場：石川県漁業協同組合輪島支所 会議室

議事次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 趣旨説明

4. 議事

(1) 報告

① 被害状況報告

② 調査結果報告

(2) 今後の進め方

(3) その他

5. 閉会

能登の水産関係港の復興に向けた協議会 構成員

	区 分	所 属	役職等	氏 名	現地・WEB
1	漁業団体	石川県漁業協同組合	代表理事組合長	笹原 丈光	現地
2	学識者	金沢大学	教授	楳田 真也	現地
3	研究機関	国土交通省国土技術 政策総合研究所	港湾・沿岸海洋 研究部長	酒井 浩二	WEB
4		国立研究開発法人 水産研究・教育機構	水産技術研究所 水産工学部長	本田 耕一	現地
5	市町	七尾市	市長	茶谷 義隆	WEB
6		輪島市	市長	坂口 茂	現地
7		珠洲市	市長	泉谷 満寿裕	WEB
8		志賀町	町長	稲岡 健太郎	代理(WEB)
9		穴水町	町長	吉村 光輝	WEB
10		能登町	町長	大森 凡世	現地
11	国	水産庁	長官	森 健	WEB
12		国土交通省 北陸地方整備局	港湾空港部長	佐々木 規雄	WEB
13	県	石川県農林水産部	部長	竹沢 淳一	現地
14		石川県土木部	部長	鈴見 裕司	WEB

令和6年能登半島地震による被害等の状況等について

資料1-1



**県内の9割の漁港・港湾で被害を確認（被害：72港（県17、市町55）／県内：81港）
⇒外浦地域では地盤隆起、内浦地域では津波などによる甚大な被害が発生**

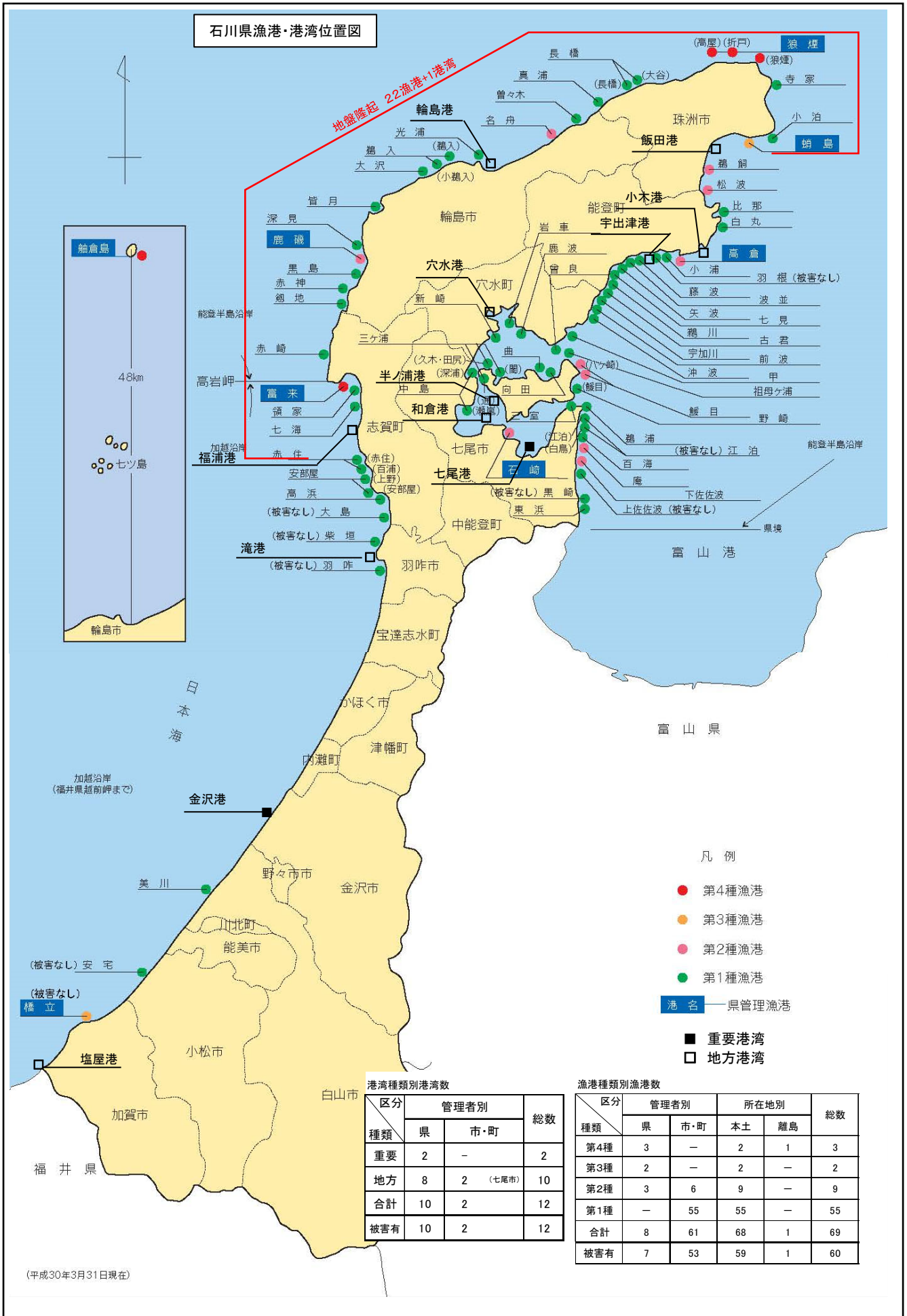
港湾関連

施設	内容	被害数	関係市町	備考
港湾10港 (県管理)	防波堤、岸壁、物揚場、 道路、埠頭用地損傷	10	金沢市(1)、七尾市(1)、輪島市(1)*1、珠洲市(1)、 羽咋市(1)、志賀町(1)、穴水町(1)、能登町(2)、 加賀市(1)	*1 輪島港では地盤隆起により 水深が不足
港湾2港 (市管理)	防波堤、岸壁、物揚場、 道路、埠頭用地損傷	2	七尾市(2)	

水産関連

施設	内容	被害数	関係市町	備考
漁港8港 (県管理)	防波堤、岸壁、物揚場、 臨港道路損傷	7 漁港	七尾市(1)、輪島市(2)*1、珠洲市(2)*1、志賀町(1)*1、 能登町(1)	*1 鹿磯漁港他、志賀町から 輪島市、珠洲市の外浦海域の 22漁港では、地盤隆起により、 海底の露出や水深が不足
漁港61港 (市町管理)	防波堤、岸壁、物揚場、 臨港道路損傷	53 漁港	七尾市(13)、輪島市(10)*1、珠洲市(5)*1、白山市(1)、 志賀町(6)*1、穴水町(9)、能登町(9)	
漁船	転覆、沈没、座礁、 一部損壊、流出*2	265 隻以上	七尾市(14)、小松市(1)、輪島市(16)、珠洲市(57)、 志賀町(91)、穴水町(4)、能登町(82)	*2 流出した漁船のうち18隻が 新潟県の沿岸に漂着
共同利用施設	断水、浸水、冷凍冷蔵 施設・選別機・倉庫損壊 など	27 箇所	金沢市(2)、七尾市(6)、輪島市(2)、珠洲市(6)、羽咋市(1)、 内灘町(1)、志賀町(5)、穴水町(1)、能登町(3)	
その他	岩のり畑、養殖施設損壊	10 箇所	七尾市(2)、珠洲市(3)、志賀町(3)、穴水町(2)	

石川県漁港・港湾位置図



凡例

- 第4種漁港
- 第3種漁港
- 第2種漁港
- 第1種漁港
- 港名 — 県管理漁港

- 重要港湾
- 地方港湾

港湾種類別港湾数

区分	管理者別		総数
	県	市・町	
重要	2	-	2
地方	8	2 (七尾市)	10
合計	10	2	12
被害有	10	2	12

漁港種類別漁港数

区分	管理者別		所在地別		総数
	県	市・町	本土	離島	
第4種	3	-	2	1	3
第3種	2	-	2	-	2
第2種	3	6	9	-	9
第1種	-	55	55	-	55
合計	8	61	68	1	69
被害有	7	53	59	1	60

(平成30年3月31日現在)

令和6年能登半島地震の被害状況（その1）

外浦地域を中心に地盤隆起などによる甚大な被害が発生

赤住漁港～蛸島漁港まで23港で地盤隆起の被害を確認（うち17港については港の機能不全）

県管理

鹿磯漁港（輪島市）

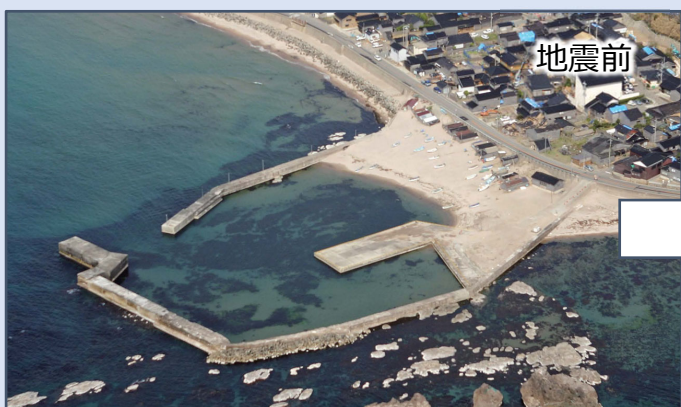


狼煙漁港（珠州市）



市町管理

黒島漁港（輪島市）



長橋漁港（珠州市）



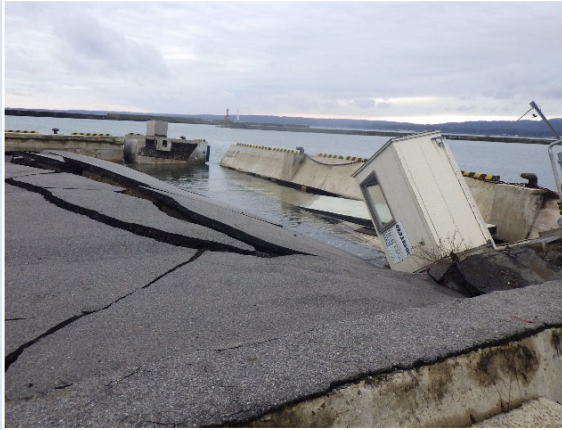
令和6年能登半島地震の被害状況（その2）

内浦地域を中心に津波などによる甚大な被害が発生

七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、志賀町の51港に岸壁や製氷施設の損傷などの被害

県管理

蛸島漁港（珠洲市）



石崎漁港（七尾市）



高倉漁港（能登町）

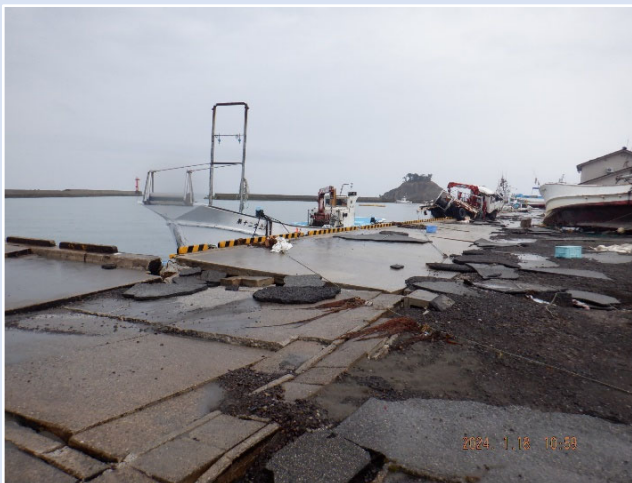


富来漁港（志賀町）

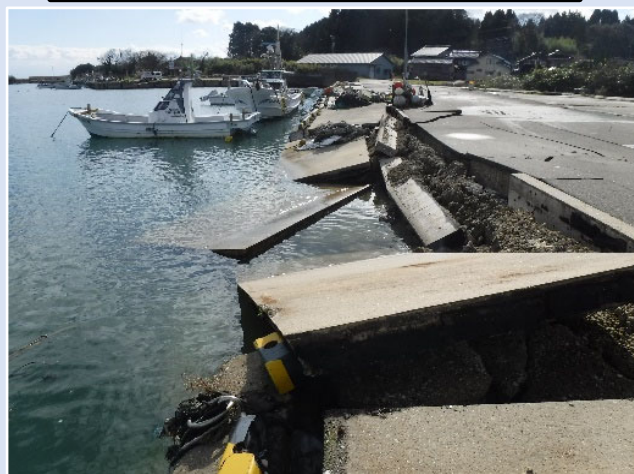


市町管理

鵜飼漁港（珠洲市）



野崎漁港（七尾市）



新崎漁港（穴水町）



赤崎漁港（志賀町）



比那漁港（能登町）



令和6年能登半島地震における港湾の被害状況と復旧対応



● 漁業活動に利用されている主な港湾

輪島港

- ・隆起した海底の浚渫工事(航路啓開)を実施中(2/16~)
- ・漁業再建に向け、仮棧橋を設置(3/16:一部完了)、道路補修



小木港

- ・漁業活動を円滑に行うため、荷捌所周辺の用地を応急復旧
- ・港周辺の臨港道路の応急復旧



飯田港

- ・漁業再建に向けた転覆船の引き上げを実施中(2/27~)
- ・資材等受入のため、岸壁へのアクセス路の応急復旧



宇出津港

- ・漁業活動を円滑に行うため、荷捌所周辺の用地を応急復旧

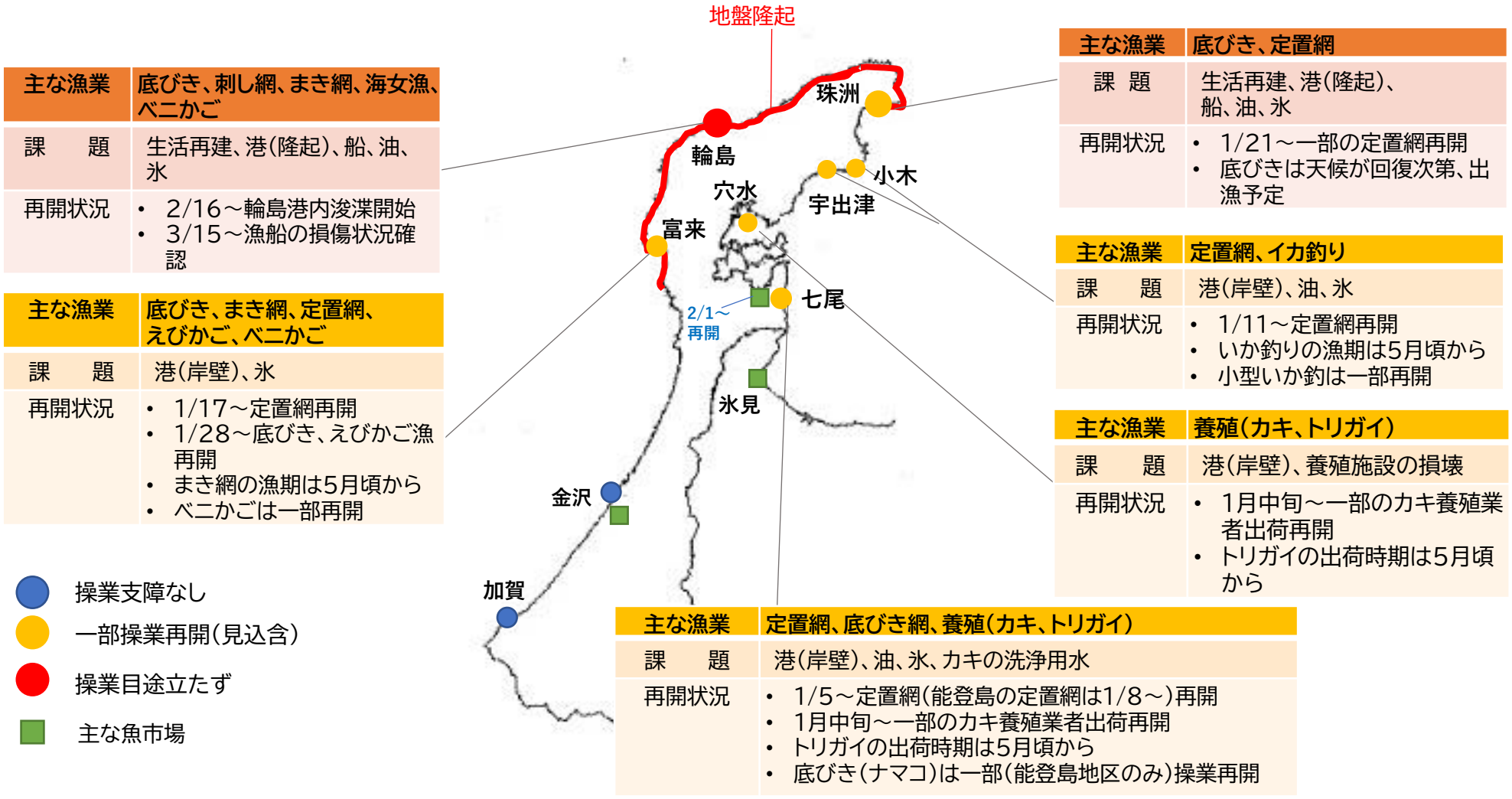


県内港湾では、支援物資・資材等受入や、漁業再建に向け、応急復旧や航路啓開等を実施

石川県内の操業再開状況と課題 (令和6年3月22日現在)

石川県漁業協同組合

○漁船が使用可能な漁業者は、順次操業を再開
 ○漁業者の操業再開の意欲に応え、県漁協では氷・燃油の調達や出荷先を調整し、操業の再開をサポート
 ○地盤が隆起した輪島港では、漁船を移動させるため漁船の損傷状況確認や係留地確保等の調整を実施



水産庁による漁港等被害実態調査（報告）

令和6年3月25日

水産庁

<対策のポイント>

水産基盤の復旧・復興事業の迅速かつ実効的な実施に向け、被害実態の緊急調査、地盤隆起等を考慮した復旧・復興対策の立案、漁港施設・海岸保全施設等設計条件見直しを実施

<事業の内容>

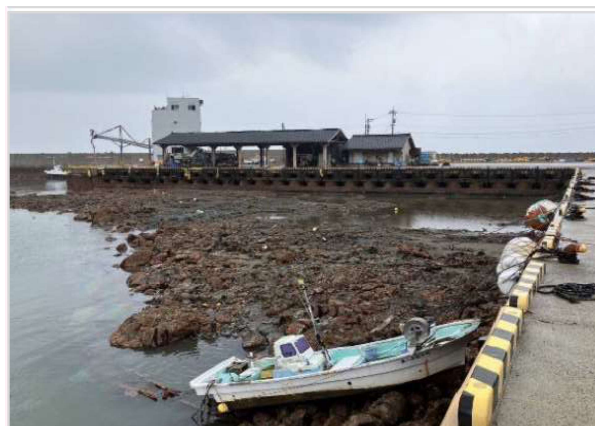
水産基盤の復旧・復興事業の迅速かつ実効的な実施に向けて、復旧・復興事業に先立って、地盤隆起等により甚大な被害が確認されている能登半島北部沿岸を中心に、以下の内容を実施

- ① 漁港及び漁場における水中の堆積物や海底洗堀等の実態把握
- ② 漁港・漁村の陸上エリアの地形変化、液状化及び津波遡上等の実態把握
- ③ 被災地震動・地盤隆起・津波高等を考慮した水産基盤の復旧・復興対策、災害復旧事業との連携方策等の立案
- ④ 漁港施設・海岸保全施設等の設計条件の見直し

<漁業地域の被災状況>

地盤隆起による被害

鹿磯漁港（輪島市）



地震に伴い、2～4m程度地盤が隆起。このため、防波堤の基礎がむき出しになり、泊地が干上がっている状況

地震による被害

蛸島漁港（珠州市）



地震によって、岸壁が傾斜するとともに、岸壁敷が陥没。漁船の利用は一部施設に限られる。

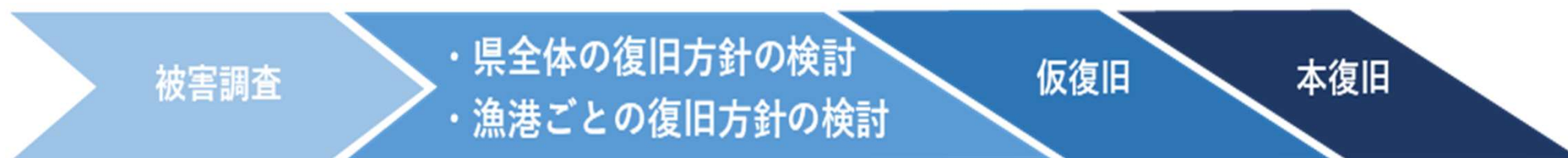
津波による被害

鵜飼漁港（珠州市）



津波によって、漁港施設、漁船及び背後集落等が被災

○地盤隆起など甚大な被害を受けた漁港の復旧の考え方



<被害調査>

- ・地盤隆起等を考慮した復旧・復興対策の立案のベースとなる、漁港等被害実態について、地元自治体等と連携して実施。

<全体の復旧方針の検討>

- ・県全体の復旧方針を検討するため、国も協力しつつ、本協議会にて議論を開始する。

<個別の復旧方法の検討>

個別の漁港ごとの復旧方針の検討も並行して開始。

<復旧工事の実施>

- ・県全体の復旧方針を受け、個別の復旧方法が決定した漁港から順次復旧工事に着手していく。

石川県能登半島の被災漁港における調査の実施状況

漁港 管理者	管理 被災漁港 数	当調査 支援対象	被害調査		
			概略調査	詳細調査	
				現地調査	分析
七尾市	13	13	13	12	7
穴水町	9	9	9	町が独自に実施しており、適宜サポートしてまいります。	
能登町	9	9	9	8	8
珠洲市	5	5	3	3	1
輪島市	10	10	9	3	3
志賀町	6	6	6	町が独自に実施しており、適宜サポートしてまいります。	
石川県	7	1※1 (狼煙漁港)	1※1 (狼煙漁港)	1※1 (狼煙漁港)	0
その他	1	0	0	0	0
合計	60	53	50	27	19

※ 県管理漁港では、直轄代行の狼煙漁港を除いた6漁港について、県が独自に実施しており、適宜サポートしてまいります。

詳細調査（水域）の実施状況（鰻目漁港）

えのめ

【目的】 水中部の3次元計測による、海底地形等の状況把握（海底地盤の変状、堆積物等）

【方法】 ナローマルチビームによる音響測深

【計測状況】



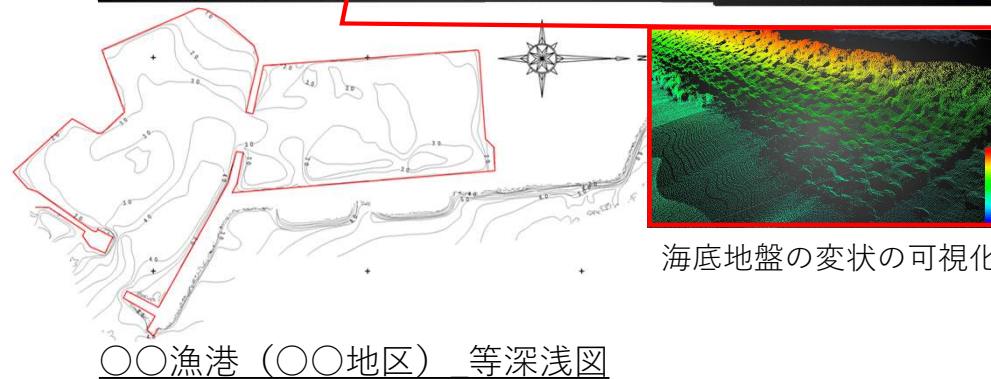
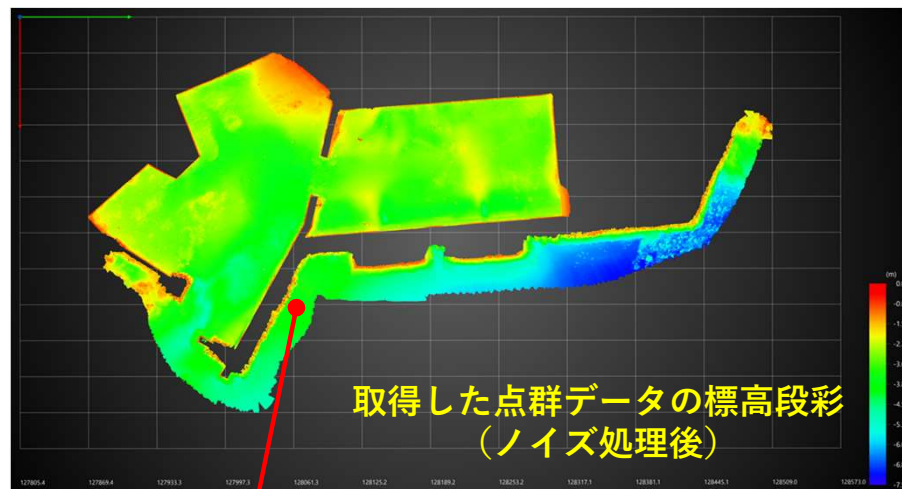
験潮、験潮所の高さ計測、水位計による計測等を行ってデータを補正

広範囲にデータを取得

海底地盤



【結果整理の例】



詳細調査（陸域）の実施状況（鰯目漁港）

えのめ

- 【目的】 陸上部の3次元計測による、漁港施設等の変状把握（沈下、隆起、傾斜等）
- 【方法】 ドローンによる空撮

【計測状況】



【結果整理の例】



取得画像の歪み等を補正し、点群処理



陸上部の変状についての可視化

「能登地域の水産業に係る港の復興に向けた協議会（復興協議会）」

《今後の進め方》

1. 分科会の設置

(1) 背景

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、県内69の漁港と12港湾を合わせて81港のうち、72港（60漁港、12港湾）で被害が生じた。

特に輪島市から珠洲市にかけての能登外浦地域においては、地盤隆起によって港そのものの機能不全や水深不足による船舶の航行不能等の被害が確認されるなど、初めて経験される被害が生じた。

また能登内浦地域では、地震による被害に加え、漁船の流失や防波堤の倒壊など津波による被害が確認された。

さらに、能登外浦地域でも、志賀町では、漁船の出入港が可能であるものの地盤隆起によって岸壁と海面の間に差が生じたほか、陸上の漁港施設に大きな被害が生じた。

こうした被害からの港の復旧・復興に当たっては、

- ① 地盤隆起の影響が少なく従来の災害復旧方法である原形復旧を基本に早急な復旧を図る地域と、
- ② 地盤隆起が著しく原形復旧では到底対応できない、相当な時間を要することが予想される地域

に大別されることから、復旧を急ぐ短期的な視点と、これまで抱えてきた能登の水産業の課題への対応や地域振興の観点も加味した中長期的な視点の双方を見据えた復旧・復興方法を関係者で協議・検討していくことが望ましい。

(2) 分科会の設置案

① 「地盤隆起による港の機能不全地域」分科会

- 対象地域…輪島市及び珠洲市

- 対象港…劔地漁港～寺家漁港の17港

漁港：劔地、赤神、黒島、鹿磯、深見、皆月、大沢、鶺入、光浦、名舟、曾々木、真浦、長橋、狼煙、寺家、舳倉

港湾：輪島

② 「漁港施設・設備の被害地域」分科会

- 対象地域…珠洲市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町

- 対象港…小泊漁港～東浜漁港の51港

漁港：小泊、蛸島、鶺飼

松波、比那、白丸、高倉、小浦、藤波、波並、矢波、七見、鶺川

古君、宇加川、前波、沖波、甲、曾良、鹿波、岩車、新崎

中島、三ヶ浦、曲、向田、祖母ヶ浦、鰻目、野崎、石崎、三室、鶺浦、百海、庵、下佐々波、東浜

赤崎、富来、領家、七海、赤住、安部屋、高浜

港湾：飯田、小木、宇出津、穴水、半ノ浦、和倉、七尾、福浦

※下線は県管理漁港

2. その他分科会の運用について

(1) 対象メンバー

- メンバーの代理出席を可とする。
- 分科会の対象地域の漁業関係者は傍聴可とする。

(2) 有識者

- 議論の進捗により、有識者を招聘し、議論の参考とする。
- 有識者は、関係行政機関や研究機関を中心に検討・選定する。

(3) 調査

- 議論に必要な調査については、関係研究機関を中心に対応を検討することとする。